(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月25日

東京都知事 殿

提出者

住 所 東京都新宿区四谷1-23 氏 名 株式会社 第一ヒューテック

代表取締役社長 島谷 聡

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-3359-8811

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	事業場の名称	株式会社 第一ヒューテック (本社)
事	:業場の所在地	東京都新宿区四谷1-23
計	画 期 間	令和6年4月1日~令和7年3月31日
当該	亥事業場において現に?	_{了っている事業に関する事項}
	①事業の種類	総合工事業
	②事業の規模	完工高(本社) 72.5億円
	③従 業 員 数	(本社)121人
	④産業廃棄物の一連 の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

(日本産業規格 A列4番)

産業	産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項						
	(管理体制図) 別添2 管理体制図のとおり						
	別你2 官理体制図の	とわり					
産業	達廃棄物の排出の抑制	こ関する事	耳項				
		【前年度	(令和5	年度)	実績】		
		産業原	廃棄物の種	重類	建設汚泥	その他の汚泥	
		排	出	量	1,777.71 t	616. 33	t
	(C) = 11 (b)	(これる 分別の徹	までに実力	施した」	取組)		
	①現状	簡易梱包	Ĺ				
		実寸作成	;				
		【目標】					
		産業原	廃棄物の種	重類	建設汚泥	その他の汚泥	
		排	出	量	1,599.94 t	554. 70	t
			実施する		 取組)		
	②計画	引続き取	は出みを超	E 於冗			
産業	薬廃棄物の分別に関する	事項					
					乗物の種類及び分別に 関係では、		
	①現状	金属くす	*・紙くす	*・木く	ず・廃プラ・混合等に	分別	
		(全後)	分別する-	予定の言	産業廃棄物の種類及び	2011に関する形組)	
		引続き分			生术/比米100/1里規及UN	ソソルス (大) ション (YVI)	
	②計画						

乗物の種類 出 量	廃プラスチック類 32.11 t	金属くず 35.84 t	ガラス陶磁器等くず	コンクリート
出量	32. 11 t	35.84 t	150 50 +	
			152.50 t	547. 11
棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリートタ
出 量	28. 90 t	32. 26 t	137. 25 t	492.40

産業		5 年度)	夫限 】			
	廃棄物の	種類	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず
排	出	量	58.17 t	347.70 t	37.65 t	50.67
【目標】						
産業原	廃棄物の	種類	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず
		量	52.35 t	312.93 t	33.89 t	45. 60
排	出					10.00

産業	廃棄物の	種類	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	-
排	出	量	92. 00 t	1,559.00 t	1.30 t	_
【目標】						
	廃棄物の	種類	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	-
		種類 量	木くず 82.80 t	建設混合廃棄物 1,403.10 t	廃蛍光ランプ類 1.17 t	
産業	廃棄物の					
産業	廃棄物の					- -

自身	っ行う産業廃棄物の再生	上利用に関する事項					
		【前年度(令和5 年度)	実績】				
		産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥			
	1	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t			
	①現状	(これまでに実施した耳					
		【目標】					
		*** **	建設汚泥	 その他の汚泥			
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t			
	②計画	(今後実施する予定の日	L 取組)				
自身	っ行う産業廃棄物の中間 「		. I . Cata				
		【前年度(令和5 年度)					
		産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥			
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t			
	①現状	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t			
		(これまでに実施した取組)					
		【目標】					
		産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥			
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t			
	②計画	自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t			
		(今後実施する予定の)	 取組)				

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度(令和5 年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
自ら再生利用を行った 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

L					
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
	自ら再生利用を行う 産 業 廃 乗 物 の 量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度(令和5 年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
自ら熱回収を行った 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
自ら熱回収を行う 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度(令和5 年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず
自ら再生利用を行った 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず
自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度(令和5 年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず
自ら熱回収を行った 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

(第3面)-4 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項 【前年度(令和5 年度)実績】 産業廃棄物の種類 木くず 建設混合廃棄物 廃蛍光ランプ類 自ら再生利用を行った t t t t 産業廃棄物の量 【目標】 産業廃棄物の種類 木くず 建設混合廃棄物 廃蛍光ランプ類 自ら再生利用を行う t t t t 産業廃棄物の量 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 【前年度(令和5 年度)実績】 産業廃棄物の種類 木くず 建設混合廃棄物 廃蛍光ランプ類 自ら熱回収を行った t t t t 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減 t t t t 量した産業廃棄物の量 【目標】 木くず 産業廃棄物の種類 建設混合廃棄物 廃蛍光ランプ類 自ら熱回収を行う t t t t 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減 t t t t 量する産業廃棄物の量

自ら行う産業廃棄物		する事項		_
	【前年度(令和5 年度)多	ミ績 】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥	
①現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃乗物の量 (これまでに実施した取組		t –	t
	【目標】			
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥	_
②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量		t –	t
産業廃棄物の処理 の	D委託に関する事項 【前年度(令和5 年度)ま	[編]		_
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥	
	全処理委託量	1, 777. 71	t 616. 33	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	1, 555. 40	t 83.60	t
	再生利用業者への 処理委託量	1, 777. 71	t 439. 23	t
①現状	認定熱回収業者 への処理委託量		t –	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量		t _	t
	(これまでに実施した取組 優良認定業者への処理委託 再生利用業者への処理委託	の推進		
1				

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度(令和5 年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産 業 廃 乗 物 の 量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(令和5 年度)実績】

産業廃棄物の種類	領	廃プラスチック	ク類	金属くず		ガラス陶磁器等くず		コンクリート片	
全処理委託量	ŧ	32. 1	l t	35. 84	t	152. 50	t	547. 11	t
優良認定処理第 への処理委託		16. 35	5 t	31. 32	t	132. 50	t	324. 86	t
再生利用業者~ 処理委託		32. 1	l t	35. 84	t	152. 50	t	547. 11	t
認定熱回収業 への処理委託		-	t	ı	t	-	t	-	t
認定熱回収業者 の熱回収を行う への処理委託	業者	_	t	-	t	_	t	_	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度(令和5 年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(令和5 年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト		レンガ破片など		石綿含有産業廃棄物	紙くず
全処理委託量	58. 17	t	347. 70	t	37.65 t	50.67 t
優良認定処理業者 への処理委託量	36. 26	t	247. 61	t	36.60 t	44. 72 t
再生利用業者への 処理委託量	58. 17	t	347. 70	t	- t	50.67 t
認定熱回収業者 への処理委託量	-	t	ı	t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量		t	_	t	- t	- t

(第4面)-4 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 【前年度(令和5 年度)実績】 木くず 産業廃棄物の種類 建設混合廃棄物 廃蛍光ランプ類 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った t - t t t 産業廃棄物の量 【目標】 産業廃棄物の種類 木くず 建設混合廃棄物 廃蛍光ランプ類 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う t t t t 産業廃棄物の量 産業廃棄物の処理の委託に関する事項 【前年度(令和5 年度)実績】

産業廃棄物の種類	木くず		建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	-
全処理委託量	92.00	t	1,559.00 t	1.30 t	- t
優良認定処理業者 への処理委託量	82. 37	t	1,393.00 t	1.30 t	- t
再生利用業者への 処理委託量	92.00	t	1,559.00 t	1.30 t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	-	t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量		t	- t	- t	- t

(第5面)

	(弗 3 囲)		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥
	全処理委託量	1,599.94 t	554. 70 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	1,399.86 t	75. 24 t
	再生利用業者への 処理 委託 量	1,599.94 t	395.31 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t
②計画	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t
	(今後実施する予定の取り 引続き取組みを継続	組)	
※事務処理欄			

【目標】				
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
全処理委託量	28. 90 t	32. 26 t	137. 25 t	492.40 t
優良認定処理業者 への処理委託量	14.72 t	28. 19 t	119. 25 t	292.37 t
再生利用業者への 処理委託量	28.90 t	32. 26 t	137. 25 t	492.40 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量		- t	- t	- t

【目標】				
産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず
全処理委託量	52.35 t	312. 93 t	33.89 t	45.60 t
優良認定処理業者 への処理委託量	32.63 t	222. 85 t	32. 94 t	40.25 t
再生利用業者への 処理委託量	52.35 t	312.93 t	- t	45.60 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量		- t	- t	- t

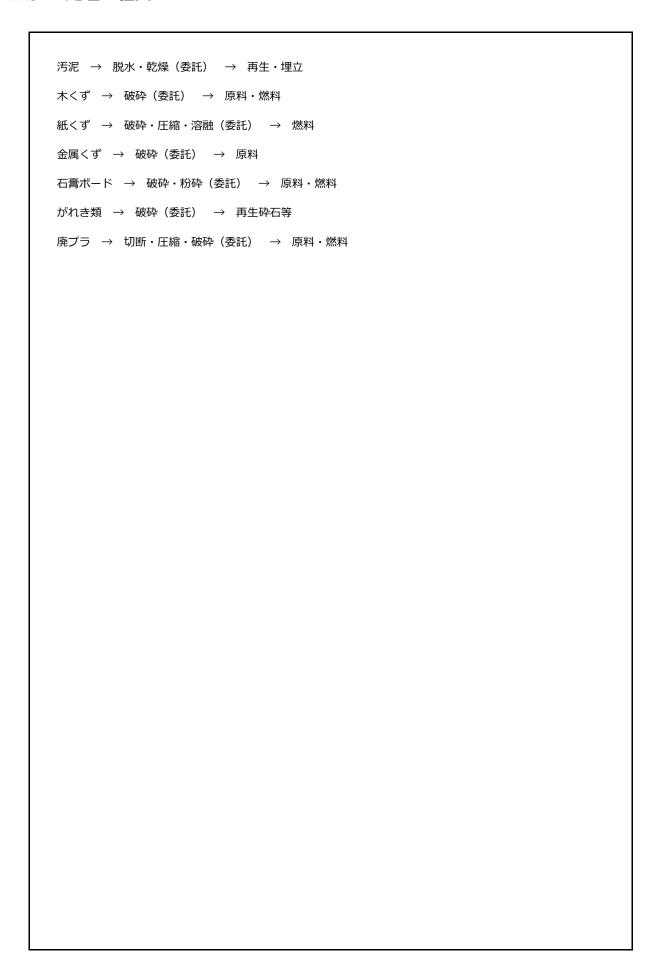
(第5面)-4

			()(V o m)								
【目標】											
産業廃棄物の種類	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	-							
全処理委託量	82.80 t	1,403.10 t	1.17 t	- t							
優良認定処理業者 への処理委託量	74.13 t	1, 253. 70 t	1.17 t	- t							
再生利用業者への 処理委託量	82.80 t	1, 403.10 t	1.17 t	- t							
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t							
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t							
	全 処 理 委 託 量 優良認定処理業者 への処理委託量 再生利用業者への 処 理 委 託 量 認定熱回収業者 への処理委託量 認定熱回収業者 の処理委託量	全処理委託量82.80 t優良認定処理業者 への処理委託量74.13 t再生利用業者への 処理委託量82.80 t認定熱回収業者 への処理委託量- t認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者- t	全処理委託量82.80 t1,403.10 t優良認定処理業者への処理委託量74.13 t1,253.70 t再生利用業者への処理委託量82.80 t1,403.10 t処理委託量- t- t認定熱回収業者への処理委託量- t- t認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者- t- t	全処理委託量 82.80 t 1,403.10 t 1.17 t 優良認定処理業者への処理委託量 74.13 t 1,253.70 t 1.17 t 再生利用業者への処理委託量 82.80 t 1,403.10 t 1.17 t 認定熱回収業者への処理委託量 - t - t - t 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者 - t - t - t							

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別添1 処理工程図



別添2 管理体制図

